

8. 徳島南部自動車道開通の効果について

- 8.1 徳島南部自動車道開通の効果 ～面的旅行速度の変化～
- 8.2 徳島南部自動車道開通の効果 ～朝ピーク時の利用状況～
- 8.3 徳島南部自動車道開通効果の更なる促進
～経路転換を促すための基礎調査～

8.1 徳島南部自動車道開通の効果 ～面的旅行速度の変化～

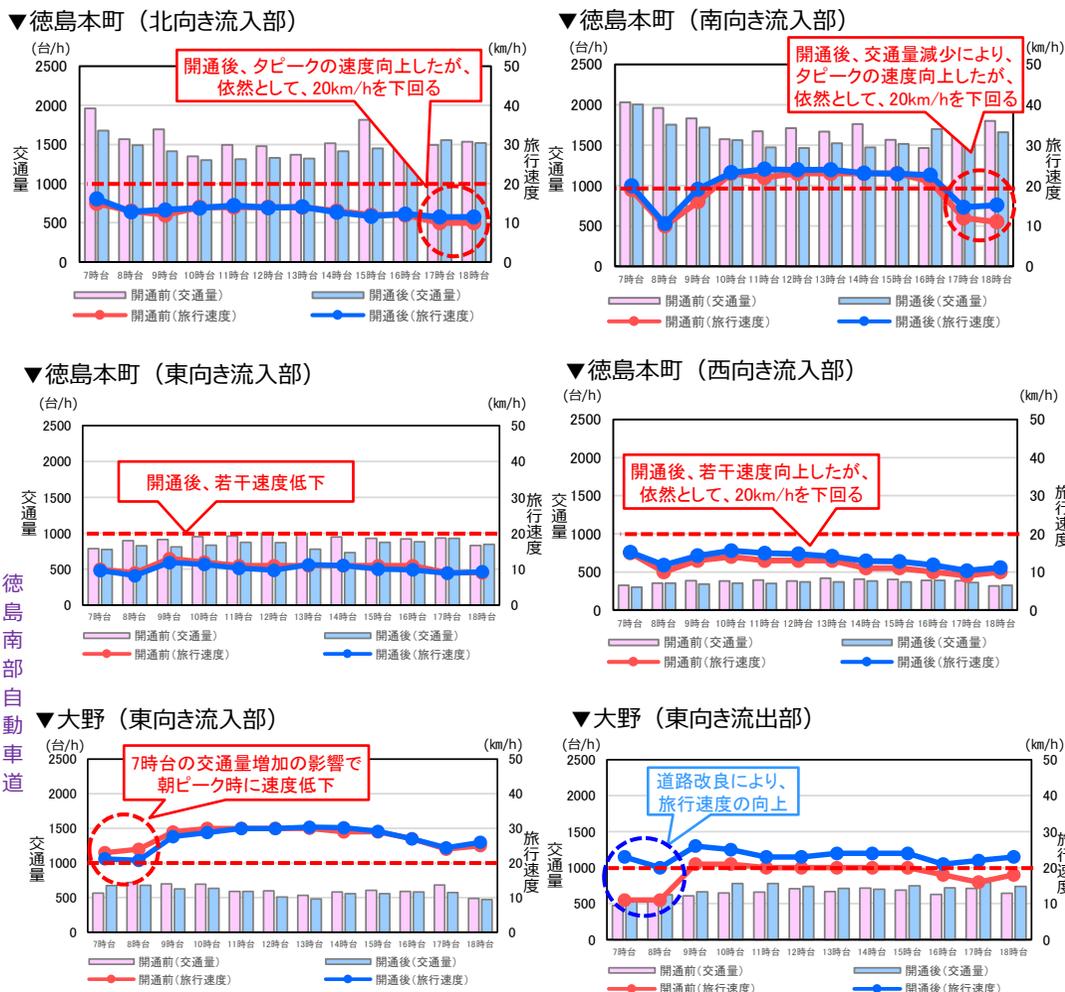
○徳島南部自動車道(徳島JCT～徳島沖洲IC:令和4年3月)が開通したことにより、市内中心部の国道11号・55号は、南北方向の旅行速度が向上しているが、朝夕ピーク時に依然として、旅行速度が20km/hを下回る交差点が存在。また、東西方向の旅行速度が低下している主要渋滞箇所も存在。

○国道55号大野交差点は、開通後、東行きの旅行速度が低下しているが、流出部は、道路改良により、旅行速度の向上が顕著。

開通前後旅行速度の変化(平日:8時台)

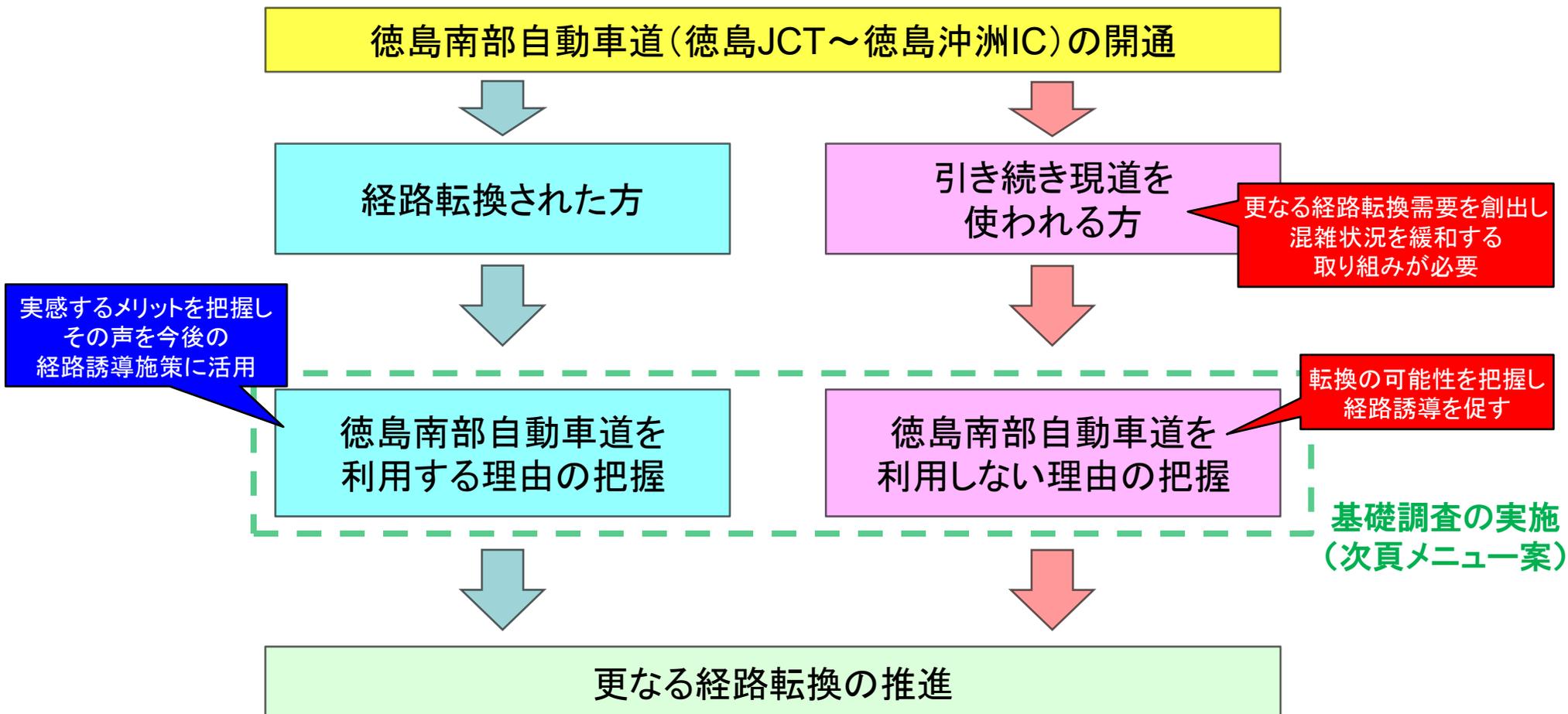


開通前後代表交差点の交通量と旅行速度変化



8.3 徳島南部自動車道開通効果の更なる促進 ～経路転換を促すための基礎調査～

- 徳島南部自動車道の開通により、一部道路利用者は徳島南部自動車道に選択経路を変更した一方で、長トリップ通過交通の一部が現道に残存。
- 更なる経路転換需要を創出し、現道部の混雑状況を緩和すべく、道路利用者が実際に実感するメリットや転換の可能性等について把握し、更なる経路転換の推進に向けた基礎調査を実施する。



▲徳島南部自動車道の利用促進に向けた基礎調査実施フロー(案)▲

8.3 徳島南部自動車道開通効果の更なる促進 ～経路転換を促すための基礎調査～

- 更なる経路転換を促すべく、実際に徳島南部自動車道を利用している道路利用者に対して意見聴取を行う他、経路転換を実施しなかった道路利用者からも意見聴取を実施する。
- 定性的な開通効果を把握するとともに、徳島南部自動車道が開通したことにより生じ得る波及効果や副作用等についても定量的に評価を行い、徳島南部自動車道への更なる経路転換を促すために必要とされる取り組み内容等について把握する。

▼徳島南部自動車道への更なる経路転換を促すための基礎調査

検証項目(案)		具体的な調査手法(※)	調査対象	調査目的・概要
徳島南部自動車道を	利用する理由	・ヒアリング調査	・物流企業(屋号で抽出) ・バス事業者	・徳島南部自動車道を利用するメリット等を確認。 ・今後施策展開を図るべき内容等について把握。
	利用しない理由	・WEBアンケート調査	・道路利用者 ・徳島南部自動車道を利用しない長トリップ通過交通の道路利用者	
休日利用状況		・ETC2.0プローブデータ	・徳島南部自動車道・南北方向の主要幹線道路	・徳島都市圏では休日にも慢性的に交通混雑が発生。 ・休日の道路利用者も経路転換対象となり得るため、休日の利用状況・転換状況を把握。
		・WEBアンケート調査	・観光客	
		・携帯プローブデータ	・休日道路利用者	
松茂SICへの波及効果		・ヒアリング調査	・周辺企業	・徳島南部自動車道の開通により、松茂SICの利用状況の変化を確認。
端末IC周辺道路への副作用		・ETC2.0プローブデータ	・徳島津田IC周辺道路	・徳島津田IC周辺道路に生じた新たな交通混雑も要因の一つとなり、徳島南部自動車道の利用率が低下していると想定。

※調査手法や概略工程等については、今後検討予定